

A4651  
国鉄415系0番台 冷房車・常磐線旧塗装 8両セット

主な走行都市



製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

品番	A4651			
JANコード	108840			
商品名	国鉄415系0番台 冷房車・常磐線旧塗装 8両セット			
商品系形態	塗装済完成品			
素材	ABS樹脂			
予価	19,600円			
規格	N			
対象年齢	8歳以上			
カートン内入数	12			
実車	<p>国鉄における在来線の交流電化が実用化され、1961年6月、常磐線勝田まで、鹿児島本線久留米までの電化が開業し、国鉄初の近郊型電車として常磐線用に交流50Hz用の401系、鹿児島本線用に交流60Hz用の421系が登場しました。そして主電動機を20%アップした403・423系が1965-66年にかけて登場しました。形式上は電動車のみ起こされ、付随車は401・421系と共通でした。その後50Hz・60Hz両用の主変圧器を搭載した415系が開発され、増備は415系に移行しました。415系は制御装置を搭載したモハ415、パンタグラフ・主変圧器を搭載したモハ414、制御車のクハ411の3形式から構成され、クハは300番台となっています。1971年4月から製造した前期車12両は、外観上は403・423系の後期型に準じています。1977年に冷房改造されました。現在でも勝田電車区に所属し、常磐線・水戸線で活躍しています。</p>			
商品	<p>現在も交直流近郊型電車の主力として活躍する415系を製品化 製品は、415系0番台の初期型である非ユニットサッシ車で 冷房改造車・先頭車高運転台・大目玉ライト装備車がプロトタイプ ローズピンク色の常磐線旧塗装 常磐線車両の特徴である常磐無線アンテナも搭載 先頭車のコンプレッサーを別パーツ化して、両先頭車の床下を作り分け 車番・所属標記印刷済 ヘッドライト・テールライト点灯(ON←→OFFスイッチ付き) 黒染車輪採用</p>			
付属品	行先ステッカー			
パッケージ	8両用ブックケース			
オプション対応	トミックス 室内灯#0751/0781/0785 トミックス TNカプラー#0334			
関連商品	A4641 423系 冷房改造車・九州色 8両セット			
編成	クハ411-301	ヘッドライト・テールライト	クハ411-305	ヘッドライト・テールライト
	モハ415-1	モーター車	モハ415-3	
	モハ414-1	パンタグラフ	モハ414-3	パンタグラフ
	クハ411-302	ヘッドライト・テールライト	クハ411-306	ヘッドライト・テールライト